



● 新年の挨拶

(財)名古屋市工業技術振興協会

会長 松尾 隆徳

新年あけましておめでとうございます。(財)名古屋市工業技術振興協会も皆様方のご支援、ご協力のおかげで、数々の成果をあげ新年を迎えました。本年もよろしくお願いいたします。

昨年、名古屋を中心とする愛知県、東海地方はセントレア開港、愛知万博の追風を受け、物づくり愛知の底力を全国に示しました。是非とも、今年は蓄えた底力を実力として定着させ、更なる発展に努めましょう。

<挑戦>

昨秋、豊田工大生嶋学長を委員長に迎えて開催された「先端技術フォーラム」で名工振賛助会員の皆様が新しい技術への取組み、新製品を多数発表されました。まさしく新しき事への挑戦の集積がこの地方の活性化の源泉であると認識を深めました。自信と勇気を持って技術革新・新製品・新事業に挑戦して行こう。

<市場で認められよう>

私達は、技術革新と市場で認知して頂く、この双方を同時に努めねばなりません。市場の求めるニーズを自らの力で具現化し、採算ベースに合せ、企業を隆盛化、永続化させねばなりません。技術もお金に換えて企業として成立する現実をしっかりと確認して行きましょう。

<市工研・名工振の活用>

市工研・名工振の目標はこの地域の産業育成であります。私達地元の中企業が市工研・名工振を社外協力者としてドシドシ活用しなければ意味がありません。市工研・名工振は私共の強い味方・応援団であります。

物づくりの底力を市工研・名工振の力を借りて益々強化、精鋭化し、地域産業の発展に努めよう。

<自己革新・自己責任>

最近の国・県・市の中小企業育成策は、自ら努力し改革、革新を図る中小企業に対して力を貸し、待っているだけの企業には力を貸しません。また、結果に対して自ら責任を持つ事が成長への条件です。

<企業倫理>

あいかわらず日本各地で企業倫理にもとる不祥事が多発しています。私達名古屋・愛知の人間は実利を求め、浮利を追わない質実剛健のDNAを持った人類です。国民生活に直結する中小企業集団こそ、まじめに社会に貢献する企業経営に励みましょう。

苦労は続きましょうが、国造りの一端を担っている自覚を胸に、毎日毎日楽しく夢を持って前進しましょう。本年もよろしく。